

中部シニアライフアドバイザー協会

SLA 通信

中部SLA協会 総務委員会広報部会
〒460 名古屋市中区正木1-2-8
(〒)シニアルネサンス財団内
TEL 052-332-7883

年度始めにあたり

中部シニアライフアドバイザー協会
会長 長 計

中部SLA協会も昨年10月発足以来、わずかな期間ではありましたが、初年度の事業計画を消化し、6月末からは新たに3期生を加えて、154名の団体として、第2年度の一步を踏み出しました。

顧みますと、昨年度は何もかもがはじめて経験することばかりでした。

この経験から得た知識と、原則的な倫理のもとに、将来の展望を考えつつ、今期の事業計画を実施していかねばなりません。

それも「シニアルネサンス財団」の創立の理念に則して考え、実行していかねばならないと思います。逸脱すると、財団の全国的展開が阻害され、ひいては各地区SLA協会の発展も制約されると考えるからです。即ち、財団の活動方針に従って、その全国展開の1地域である、中部地区での役割を担っていくことが、もっとも適切であると判断するからです。

本協会の活動は、SLA倫理綱領に示されたように、(1)公益確保の義務があり、(2)自発的に研究研鑽の努力をしつつ、(3)ボランティア活動をすることです。しかし、わたしたちが団体として、この倫理を実践する場合、具体的実務は、自ら計画し実行しなければならぬことを、昨年度の経験から学びました。

さらに協会の力をフルに発揮させるには、団体としての行動効果を高めるため、組織を強化し、信頼を得るための会員の資質向上に

努力し、協会の知名度を上げ、付随的に活動を拡大するための経済的基盤を確立しなければなりません。

ご存じのように、本協会はボランティア団体ですから、他の強力な組織の団体と違って強制力がありません。従って、会員相互の信頼により、協会の目的とする事業に、生き甲斐を見出だすように、各人の意識を開拓すると共に、地域住民の信頼度を高める対策として、創立間もない当協会としては、意欲ある会員を対象に研鑽の機会を数多く提供し、資質のレベルアップをはかる必要があります。しかも早い時期にこの態勢を整えなければ、いたずらに本来の活動を遅延させることになりかねません。

自治体の生涯学習や産業界の各種行事に、協会の事業目的の一つである講師を派遣する場合、参加者の知識水準が進んでいる昨今、かなりの専門知識を会得していないと、批判は厳しいものと覚悟しなければなりません。

本年度は、4項目の事業計画が総会で承認されました。いずれも上記に述べた目的達成のための計画です。一つ一つを具体的に説明する紙面はありませんが、すでに幹事会は、昨年引き続き3委員会を設置し、部門別の実行計画の立案にかかりました。各委員会から逐次発表があると思いますが、意欲ある会員の皆様のご努力を期待し、一層のご協力をお願いいたします。

平成7年度通常総会決議報告

開催日 平成7年6月25日(日)
 場所 ホテルサンルート名古屋
 出席者数 2期生 48 3期生 41
 委任状数 2期生 27 3期生 17

下記の議案が、原案のとおり承認可決
 されましたので、ご報告いたします。
 議案事項 第1・2・3・4・5号議案

☆

役員選考方法について、選考委員から、次のような説明がありました。

《昨年は役員に立候補制を採用したため役員数が地域によって偏りがあった。従って、今期は地域の会員数に応じて人数を決定した。

また、指名方法は、選考委員と地域部会長が相談の上、推薦した》

選考委員 委員長 深見正子(名古屋)
 浅野澄子(藤) 鈴木八重子(三河)
 加藤 清(豊)

なお、3期生が役員にいないのは不公平との発言がありましたが、3期生は総会日から入会資格取得のため、来期から役員に加わることで、出席者の賛同を得ました。

☆

懇親会では、3期生の自己紹介、カラオケなど、S.L.A間の交流がはかられました。

平成7年度選任の役員および幹事

| | | |
|-----|-------|-------|
| 会長 | 長 計 | |
| 副会長 | 山下可子 | 松村 坦 |
| 監査 | 深見正子 | 外山晴美 |
| 幹事 | 浅野澄子 | 井上サエル |
| | 今泉治子 | 加藤恭子 |
| | 加藤 清 | 近藤厚一 |
| | 鈴木八重子 | 田中照夫 |
| | 殿村桂子 | 野瀬三枝子 |
| | 南谷紀美子 | 山口敏子 |

役員3役プロフィール

会長 長 計(おぢ けんじ)氏
 技術畑出の緻密さと広い視野を兼備した実行力には定評がある。茨城県出身

副会長 山下可子(やました かのこ)氏
 教育畑出の実力派。そつのない仕事ぶりに大きな信頼がある。岐阜県出身

副会長 松村 坦(まつむら ひろし)氏
 TVの司会から調理師免許まで幅広い経験を活かした行動派。東京都出身

当日の来賓

(財)シニアルネサンス財団 喜多村治雄会長
 河合和事務局長、 中日新聞社 高間睦氏
 祝電

(財)シニアルネサンス財団 牧野昌司理事長

第1回 幹事会記録

平成7年7月9日(日) 市教育館

1. 報告事項

(1)平成7年度総会報告

(2)長 会長から事業計画実施に関するビジョンがしめされた。(P.1参照)

2. 会則33条に従い、3委員会を設置し副会長を含む職務分担を右記のように決定した。

| | | |
|--------|-----|----------------|
| 総務委員会： | 委員長 | 山下可子 |
| | | 浅野澄子 今泉治子 加藤恭子 |
| | | 山口敏子 南谷紀美子 |
| 研修委員会： | 委員長 | 松村 坦 |
| | | 近藤厚一 鈴木八重子 |
| | | 殿村桂子 野瀬三枝子 |
| 地域委員会： | 委員長 | 田中照夫 |
| | | 加藤 清 井上サエル |

3/30 通信担当幹事
 今泉治子
 加藤 清
 山下可子
 松村坦

総務委員会報告

第1回委員会 7月10日 第一ホテル

☆総務委員会内の部会と担当を次のように決定。

| | | |
|------|---------|-------|
| 庶務部会 | 山下可子(類) | 南谷紀美子 |
| 経理部会 | 浅野澄子(颯) | 山口敏子 |
| 広報部会 | 今泉治子(颯) | 加藤恭子 |

☆当面の業務は下記のとおり。

- (1) 会員名簿の作成(7月14日発行済み)
訂正のある方はご連絡ください。
- (2) 電話相談実績の統計調査
- (3) 会報 vol. 3の発行
- (4) 懇親会の開催(他委員会とのタイアップ)
- (5) 生き生き教室など講師リストの作成

研修委員会報告

第1回委員会 7月22日 第一ホテル

→今年度の活動方針を次のように決定←
来年3月までに、全体研修会を2回開催。
その内1回は財団と共催で、電話相談活動
についての講習会を行います。実施細目
については、決まり次第ご案内します。
また、高齢者福祉施設への見学を含む外部
研修会も1回行う予定です。

研究部会 会員募集

本年度は講師の養成と研修に重点を置き、
総務委員会と連携して、講師リストを作成
します。それに伴い、下記の6研究部会を
設け、会員の入部を募ります。部会開催は
月1度程度です。

- | | |
|--------|----------------|
| ① 電話相談 | ② 人間関係 |
| ③ 生きがい | ④ 健康(スポーツ 雑 糧) |
| ⑤ 年金 | ⑥ 遺産・相続 |

参加申込みは、ハガキに希望部会(複数可)
住所 氏名 年齢 電話番号を記入の上、
下記へお送りください。(8月10日締切)
〒456 名古屋市熱田区大宝3-6-26
シャンプール日比野804 松村 坦

地域部会活動便り

…………… 有志会の方向について ……………

この研修会は、当初、岐阜部会の有志が発起人となり、講師の養成を目的にゼミナールの開催が計画されましたが、都合によって、会員全員に有志を募ることになりました。

その後、会は全体的の有志会と輪講式ゼミナールに分かれ、前者は、年金、相続、シニアライフの経済設計、健康をテーマに、2月から毎月1回、28名前後の参加で行われ、後者はテーマを年金に絞り、10数名の参加で、2月以降、毎月2回開催されました。

このうち、有志会は、地域部会の研修会に留めず協会主催にしては、との声が上がったことと、一方の年金ゼミが最終段階に入り、9月をメドに仕上げに集中するため、研修委員会に継続の検討を委ね、7月以降、発展的解消をしました。(長)

…………… 愛知第2部会 活動報告 ……………

第2部会では、地域部会スタート以降、6回の会合を開きました。会が重なるにつれてお互いの気心が知れ、地域のSLA活動について前向きな意見が、活発に交わされるようになりました。

6回目の会合は、5月25日、11人が参加して、緑区の特別養護老人ホーム「緑生苑」を訪問しました。副施設長から運営の概要を聞き、質疑応答後、施設内を見学しました。

新しい施設のため設備が充実し、談話コーナーなどソフト面も工夫されていました。若いスタッフが多く、雰囲気は和やかでした。

このような施設は、人的、物的、自然環境の中でも、とりわけ人とのかかわりを持つ人の環境の大切さを思いました。(外山)

地域部会は、地域の実態に応じた活動を目指して、平成6年11月発足しました。

新入会員を迎えた今年度は、部会ごとの実績や反省から、構想を新たに再出発できるように、目下、計画中です。

高齢者相談実務の現状と提案

自治体と同一歩調で歩きだした電話相談室

中部シニアライフアドバイザー協会
監査 深見正子

シニアルネサンス財団名古屋インフォメーションセンターの電話相談室が、昨年8月8日に開設され、SLAが相談業務に携わって、1年近くが経ちました。
その間、関係機関との連絡会が結成され、本年3月23日、愛知県社会福祉協議会館で、「愛知県高齢者相談関係機関実務担当者連絡会議」が開催されました。
会議内容は、高齢者に関する相談事業についての情報交換です。各機関から提出された資料は、当相談室にありますから、参考にして頂きたいと思えます。
なお、連絡会の構成は、次の12機関です。

- ◇愛知県県民サービスセンター
- ◇愛知県警察本部警察住民コーナー
- ◇民生児童委員会愛知委員会
- ◇名古屋市社会福祉協議会
- ◇愛知いのちの電話協会
- ◇シニアルネサンス財団名古屋インフォメーションセンター
- ◇愛知県消費生活センター
- ◇名古屋年金相談サービスセンター
- ◇愛知県ホームヘルパー連絡協議会
- ◇愛知県社会福祉協議会(しあわせ電話相談 ことぶき結婚相談)
- ◇愛知県高齢者総合相談センター
- ◇知多市在宅ケアセンター

中部SLA協会も、上記の他団体(自治体)との交流メンバーであることは、今後の事業活動にも期待されていることと思われまます。

そこで、月1回は、「相談員の手法」研修会を実施して、わたしたちが信頼性の高い相談員として、さらに努力できる場とすることを提案いたします。

【電話相談実績】(平成6年8月8日～平成7年3月31日 延べ154日)

| | | | | | | | | | | | |
|------------------|-----|----|----|----|----|-----|----|----|-----|--------|-----------|
| 相談者数 (相談者数 501人) | | | | | | | | | | 女性 83% | 男性 17% |
| 月 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | | |
| 人数 | 127 | 54 | 52 | 36 | 36 | 106 | 51 | 39 | 501 | 最多年代 | 50代 42.5% |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|------|------|----|----|----|-----|-----|
| 相談内容別 (546件 相談者によっては複数の相談内容もある) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 健康 | 医療 | 介護 | 痴呆 | 年金 | 税金 | 財産 | 相続 | 結婚 | 離婚 | 住居 | 家族 | 人間関係 | 生きがい | 仕事 | 趣味 | 高齢 | その他 | 合計 |
| 人数 | 18 | 19 | 11 | 1 | 55 | 3 | 5 | 17 | 15 | 36 | 8 | 158 | 92 | 33 | 9 | 1 | 0 | 65 | 546 |

SLA便り

5月28日、中部地区の3期生71人が、SLA資格を認定されました。
当日、認定式に先だって、福村正樹、山下可子、長計の3氏が、協会の趣旨を説明し入会を募りました。
その結果、63人の入会者があり、2期生を含む協会の会員数は、154人(7/31現在)となりました。
なお、SLA養成講座は、平成8年度から10月募集に変更をし、7年度(4期生)は東京のみ募集すると、総会の席で、財団の河合事務局長から発表がありました。

編集後記

広報部会では、新年度に入り、気分も新たに、会報の編集に取り組みました。新会長の挨拶文にもありますように、会員相互の信頼関係と協会活動を円滑にするため、できる限りの情報を集め、皆さまに納得していただく内容になるよう、努力したつもりです。
今日まで、さまざまなかたちで、ご意見やご要望をお寄せくださった方々に、心から感謝いたします。これからも広い角度から問題を投げかけていただき、会報の中で、共に考えていきたいと思えます。

総務委員会広報部会